

ヒルクライムチャレンジシリーズ2012
高梁吹屋ふるさと村大会の参加者募集

ヒルクライムチャレンジシリーズ2012高梁吹屋ふるさと村大会の参加者を募集しています。

開催日：受け付け：10月6日(土)
大会競技：10月7日(日)
ヒルクライムチャレンジシリーズは、ロードレーサー、MTB(マウンテンバイク)、ジュニアの3つの部門に分かれて、競技が行われます。

コースは、旧高倉小学校横から吹屋ふるさと村までの15.4kmで標高差419m、平均斜度2.7%のフルコースと、宇治高等学校までの10kmで標高差267m、平均斜度2.3%のショートコースの2種類。平均斜度を抑え、初心者から本格派のサイクリストまで、幅広く参加できる設定をしています。

ロードレーサーおよびMTBのフルクラスは16歳以上、同シヨートクラスは中学生以上、ジュニアシヨートクラスは、小学校3年生から参加できます。詳しくは、ヒルクライムチャレンジシリーズの公式ホームページ <http://hill-challenge.jp> をご覧ください。

申込期限：9月6日(休)まで
スポーツ振興課 ☎0425

夏の暑さはプールで解消
市民プールの開設

プールの場所
○高梁市民プール：落合町近似93-1 ☎29331
○有漢市民プール：有漢町有漢3387 ☎3200
○成羽市民プール：成羽町成羽601 ☎09018993
13817

利用期間 7月20日(金)～8月19日(日)
利用時間 正午～午後4時
入場料(1人1回につき)

	高梁	有漢成羽
小学生	70円	40円
中学生	110円	50円
高校生	140円	70円
大人	180円	90円

利用の心得(主なもの)
・小学4年以下は、付き添いの保護者がいないと入場できません。
・小学生以下は付き添いの保護者と一緒に入れば50歳プールで遊ぶことができます。

(ただし、5・6年生は保護者の監視または50歳以上泳げる3人以上グループは可能)
スポーツ振興課 ☎0425

8月に開催するスポーツ大会のお知らせ

市体育協会事務局 (スポーツ振興課内 ☎0425)

名称	開催日 開会時間	会場	備考
第7回国体開催記念 高梁オープンソフト ボール大会	19日(日) 午前8時30分	高梁運動公園	【対象】大学生以上の成人で構成されたチーム 【内容】全試合5回制、ピッチャーはスローピッチ 【参加費】1チーム6,000円(連盟登録チームは3,000円) 【申し込み】8/15(水)までに市体育協会事務局へ 【問い合わせ】斉藤さん ☎090-5375-4596

FC 高梁吉備国際大学 Charme (シャルム) を応援しよう!!

■なでしこリーグ昇格を目指して現在奮闘中!

FC 高梁吉備国際大学シャルムは、なでしこリーグ昇格を目指し、地域の皆さんと一体となり、日々熱い戦いを繰り広げています。現在、勝ち点34(7月8日現在)でリーグ2位。今シーズンの成績によっては、なでしこリーグへ昇格できます。「高梁でなでしこリーグを!!」を合言葉に頑張っていますので、皆さんの応援をよろしくお願いいたします。

■なでしこリーグとチャレンジリーグの入替

- 「なでしこリーグ」10位チームと「チャレンジリーグ」の1位チームは自動入れ替えとなります。
- 「なでしこリーグ」9位チームと「チャレンジリーグ」の2位チームは入れ替え戦を行い、勝者は「なでしこリーグ」へ昇格。敗者は「チャレンジリーグ」となります。



節	開催日	対戦相手	会場	結果	節	開催日	対戦相手	会場	結果
1	4/8	愛媛FC	高梁神原	2○1	12	6/24	愛媛FC	愛媛球	3○1
2	4/15	JSCL	新発田陸	2○0	13	7/1	JSCL	高梁神原	8○0
3	4/22	ベガルタ	高梁神原	0●3	14	7/8	ベガルタ	松島運動	2△2
4	4/29	AC長野	南長野	4○1	15	7/15	AC長野	高梁神原	-
5	5/6	パニーズ	高梁神原	3○0	16	7/22	パニーズ	西京極補	-
6	5/13	静産大ク	ヤマハ	4○1	17	9/16	静産大ク	高梁神原	-
7	5/20	J鹿児島	高梁神原	3○0	18	9/23	J鹿児島	薩摩川内	-
8	5/27	日体FC	日体大	4○1	19	10/14	日体FC	高梁神原	-
9	6/3	S世田谷	高梁神原	1●2	20	10/21	S世田谷	世田谷	-
10	6/10	常盤木高	高梁神原	2○1	21	10/28	常盤木高	宮城県A	-
11	5/3	ac福島	時之栖A	2○1	22	11/4	ac福島	高梁神原	-

※ 部分はFC高梁のホームゲーム(地元開催試合)。すべて神原スポーツ公園で試合予定です。

磐窟谷(溪)

八十三 磐窟谷(溪)

「磐窟谷」は、川上町七地から備中町布瀬にまたがる成羽川の支流、布瀬川上流に位置する溪谷で、昭和六年国指定の名勝になっている場所であり、川上町七地の北西端から備中町布瀬との境界付近で、布瀬川に合

石灰岩の断崖絶壁

流している谷で、西には川上町高山、北には備中町布賀が、東には備中町布瀬や川上町七地があります。付近には、標高五〇〇m前後の中新世(約七〇〇万年前)に形成された吉備高原の小起伏面が広がり、川上台・成羽台に続く、二億八千万年前の石炭紀に堆積した石灰岩が分布する台地となっていて、カルスト地形が発達しています。台地上の川上町七地には、きちんとした水路の形成が見られず、小さな起伏面が多く残されていて、すり鉢状のドリーネやウバーレ(ドリーネの凹がつながって大きくなったもの)やポール(吸い込み穴)などの凹地やカレンフェルト(石塔群)が見られる場所となっています。このような石灰岩の台地を布瀬川の上流の磐窟谷が深く浸食して、高さ一〇〇mに及ぶ断崖絶壁をつくっているV字谷の峽谷を「磐窟溪」といいます。

石灰岩の断崖絶壁を中心とする磐窟溪谷は、まさに自然の奇観で、継子岳、白岳、神楽岳、打岳などは特に白亜の崖壁を見せていて「奇峰天に柱する」風景なのです。植物学的にも貴重な場所といわれ、品種も多く、暖地性、

温地性、湿地性、亜寒帯性などの種類が見られ、亜熱帯性の草は、日本における分布の最北限地といわれています。サトイモ科のムサシアブミなどが自生しています。一帯約三〇mが原生林に被覆されていて、「国指定の名勝に指定され「小耶馬溪」ともいわれ、四季折々の美しさは見事だといわれています。磐窟溪の左岸には、チャートといわれるけい酸分の多い、緻密で硬い堆積岩(火打ち石・角岩とも呼ばれる)が見られ、右岸の炭酸カルシウムを含む堆積岩(石灰岩)の崖とは対照的で「磐窟溪」は、地学や地形学の宝庫であるともいえるのです。

「打岳」といわれる中腹の海拔二五〇mのところには、別名「ダイヤモンドケープ」といわれる鍾乳洞があります。この鍾乳洞は、閉塞型洞窟(とじふさがれていた洞窟)といわれ、約七万年かかって、生長したといわれるもので、奥行きが四〇〇mあって、石灰岩台地の地中を地下水が石灰岩を溶食して、縦穴や横穴が複雑に組み合わさっていて、洞内には石灰分の沈殿によってできた鍾乳石や石筍、石柱などの奇岩が多く見られます。また日本で注目されている「曲がり石」といわれる鍾乳石の一



種で、天井に重力には無関係に、いろんな方向に、もやしのように曲がりくねって生長した「ヘリクタイト」が数多く見られるのも非常に珍しいといわれる鍾乳洞(ダイヤモンドケープ)なのです(現在は閉鎖されています)。特に青葉・若葉の頃や秋の紅葉の頃の「磐窟溪」は、すばらしい景勝地となっています。

「磐窟」の磐は、岩の字と同じ意味で「窟山」とか「岩石の多い場所」を示す地名で「窟」は「くつ」と読み、「あな」「ほらあな」「あなぐら」などの意味を表しています。「磐窟」は石灰岩の溪谷にふさわしい地名で、景勝地によく使われる地名なのです。(文・松前俊洋さん)